



令和2年国勢調査 人口等基本集計結果 要約

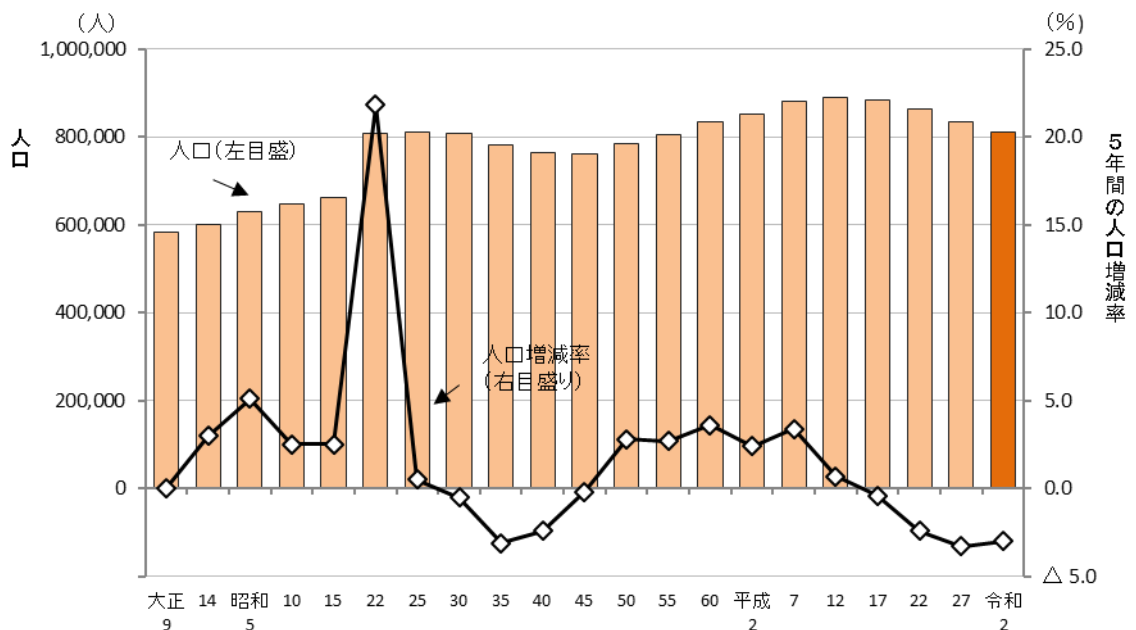
山梨県の人口

- 山梨県の人口は、809,974人（令和2年10月1日現在）
- 平成17年から減少に転じ、4回連続で減少
- 全国で42番目

- ・ 本県の人口は809,974人で、前回平成27年の国勢調査と比べると24,956人減少、減少率は3.0%で、減少幅は前回に比べ縮小
- ・ 男女別にみると、男性が397,309人(人口の49.1%)、女性が412,665人(同50.9%)と女性の方が15,356人多い
- ・ 平成12年には888,172人と調査開始以来最多となったが、平成17年からは減少に転じ、4回連続の減少
- ・ 都道府県別にみると、本県の人口は42番目

〔山梨県の概要〕1～3ページ〕

図1 人口及び人口の増減率の推移－（大正9年～令和2年）



市町村の人口

○ 昭和町、甲斐市、富士河口湖町、忍野村、中央市、早川町の6市町村で人口増加、21市町村で減少

- ・ 増加した市町村は6市町村(2市3町1村)、増加数が最も多い市町村は、昭和町(1,404人)で、次いで甲斐市(927人)、富士河口湖町(753人)
- ・ 減少した市町村は21市町村(11市5町5村)、減少数が最も多い市町村は、甲府市(3,534人)で、次いで大月市(2,907人)、笛吹市(2,612人)
- ・ 前回増加した3市町村(昭和町、甲斐市、忍野村)は引き続き増加
- ・ 前は減少したが、増加に転じた市町村は、1市2町(富士河口湖町、中央市、早川町)

(「山梨県の概要」4～6ページ)

図2 市町村別人口ー (令和2年)

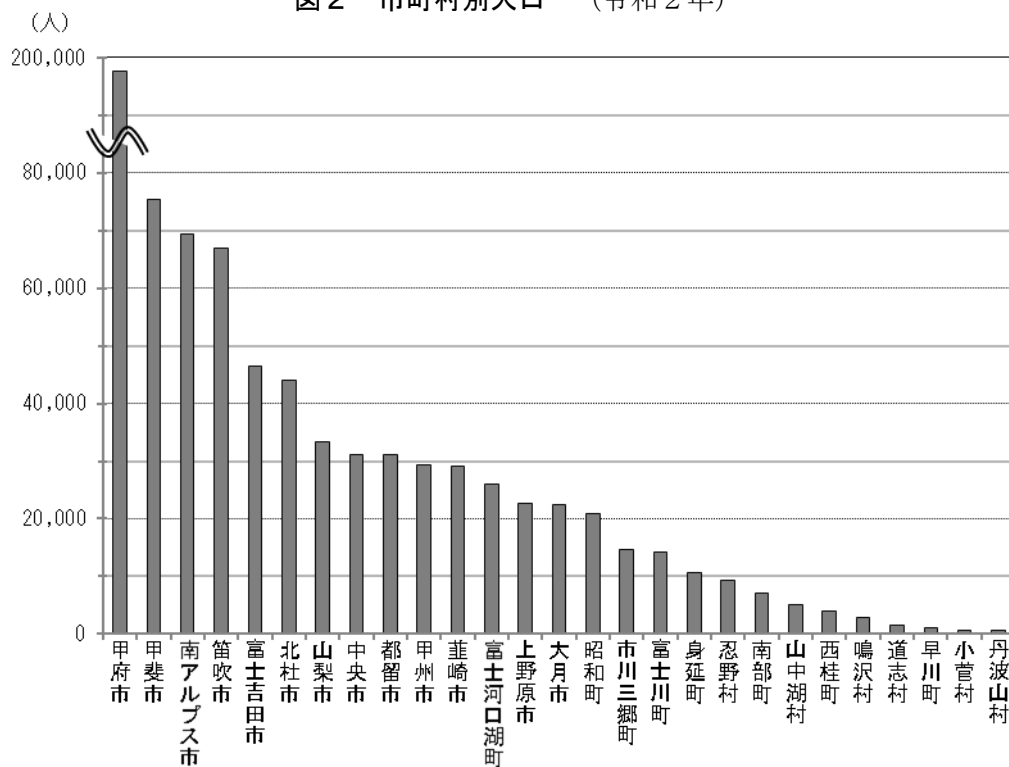
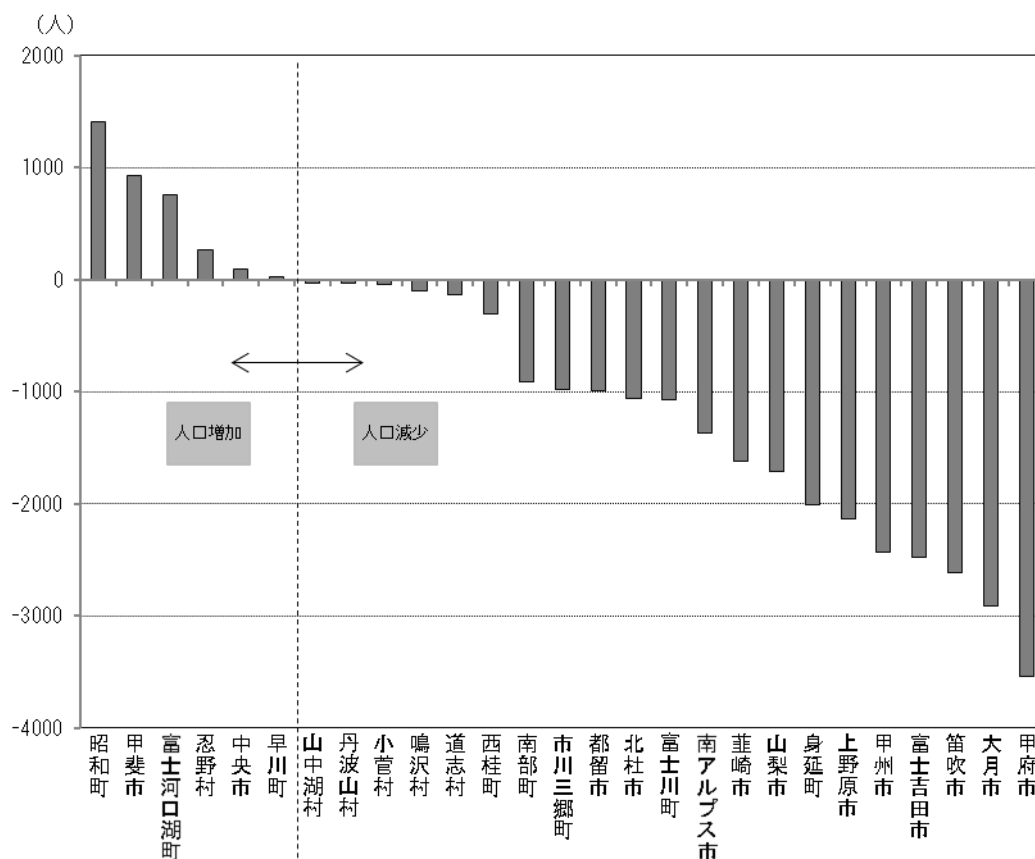


図3 市町村別人口の増減数ー（平成27年～令和2年）



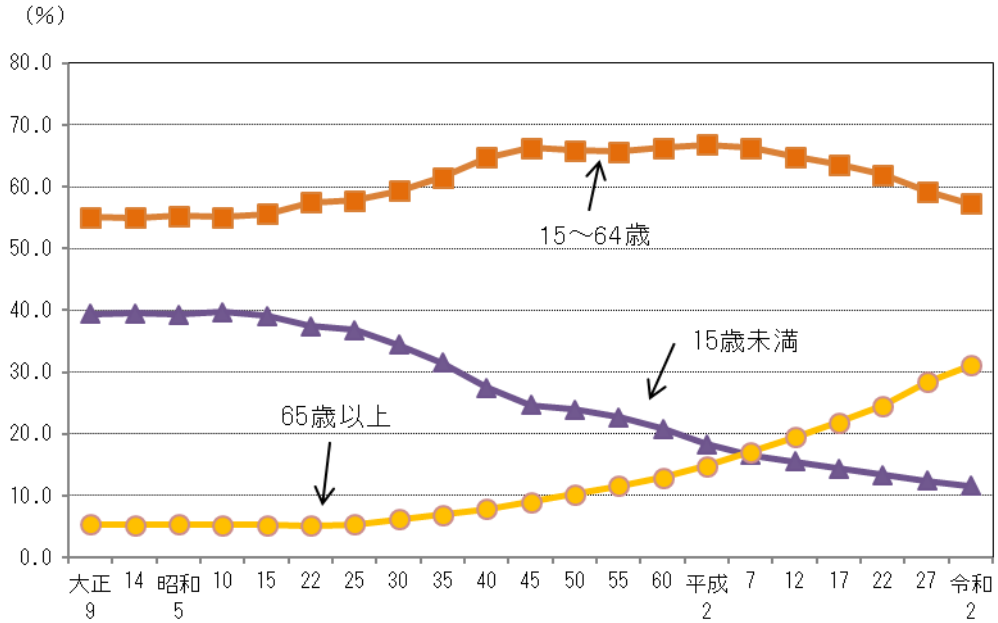
年齢別人口

- 15歳未満人口の割合は調査開始以来最低
- 65歳以上人口の割合は調査開始以来最高

- ・ 年齢3区分別にみると、15歳未満人口は91,629人、15～64歳人口は453,633人、65歳以上人口は245,884人
- ・ 割合を前回と比べると、15歳未満人口は12.4%から11.6%に低下、15～64歳人口は59.2%から57.3%に低下、65歳以上人口は28.4%から31.1%に上昇
- ・ 15歳未満人口の割合は調査開始以来最低、15～64歳人口は平成7年から6回連続で低下、65歳以上人口の割合は、調査開始以来最高

（「山梨県の概要」7～9ページ）

図4 年齢（3区分）別人口の割合の推移ー（大正9年～令和2年）



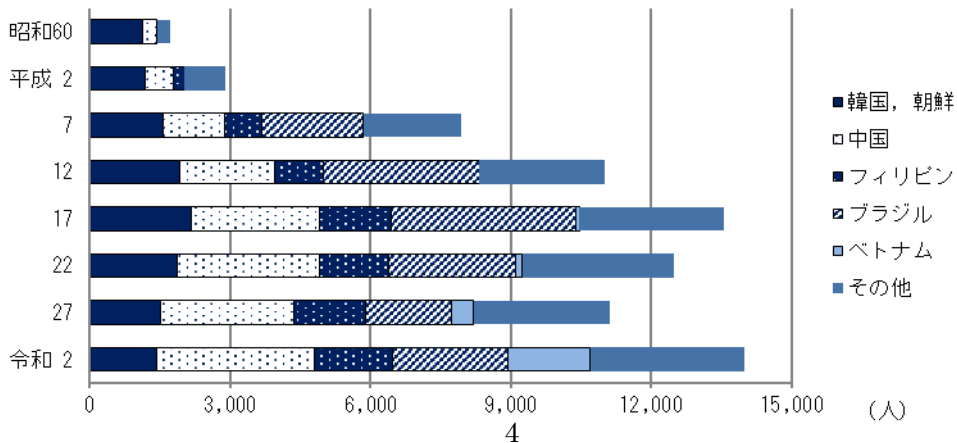
外国人人口

- 外国人人口は 13,993 人で、前回から 25.9%の増加
- 外国人人口の割合は 1.7%で、前回から 0.4 ポイントの増加

- ・ 本県の外国人人口は 13,993 人、前回と比べ 2,878 人増加し、増加率は 25.9%で、本県人口に占める割合は 1.7%となり、外国人人口及び割合とも前回から増加
- ・ 国籍別にみると、「中国」が3,385人（外国人人口の24.2%）と最も多く、「ブラジル」2,470人（同17.7%）、「ベトナム」1,766人（同12.6%）

（「山梨県の概要」15～16ページ）

図5 国籍別外国人人口の割合の推移ー（昭和60年～令和2年）



世帯の状況

- 山梨県の世帯数は、338,853世帯（令和2年10月1日現在）
- 1世帯当たり人員は、2.39人に減少し、調査開始以来最少

- ・ 本県の世帯数は338,853世帯、前回と比べ7,877世帯増加、増加率は2.4%で、昭和30年から連続して増加する中、平成12年以降は増加幅の縮小が続いていたが、今回、増加数、増加率ともに増加幅は拡大
- ・ 1世帯当たり人員は2.39人、昭和30年以降連続して減少し、調査開始以来最少
- ・ 世帯人員別一般世帯の割合は、1人の世帯が32.6%と最も高く、次いで2人の世帯が30.2%で、この2区分で全体の62.8%を占める

（「山梨県の概要」18～19ページ）

図6-1 世帯数及び1世帯当たり人員の推移（大正9年～令和2年）

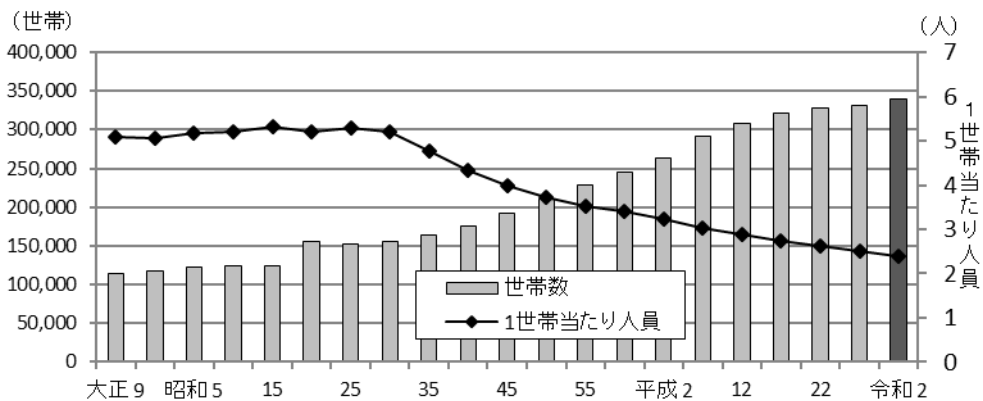


図6-2 世帯人員別一般世帯の割合の推移（昭和60年～令和2年）

